

2021年(令和3年)の経営見通し

- Q 1 2021年の日本の景気見通しは？
- Q 2 2021年の自社の業況見通しは？
- Q 3 2021年の自社の売上額の見通しは？
- Q 4 自社の業況が上向く転換点の見通しは？
- Q 5 コロナ禍において、地域金融機関に求めることは？

【調査要領】

調査要領 調査先数 368社 回答数 300社 (回答率 81.5%)
調査時点 2020年12月1日～12月7日
調査地域 当金庫本支店所在地
調査方法 調査表の郵送による調査、当金庫本支店職員による面接聞き取り調査

業種別内訳	調査数 回答数 回答率 (%)			企業規模(従業者数)別内訳			地区別内訳		
	調査数	回答数	回答率 (%)		回答数	構成比 (%)		回答数	構成比 (%)
製造業	38	32	84.2	1～4人	90	30.0	市部	153	51.0
卸売業	29	26	89.7	5～9人	53	17.7	郡部	147	49.0
小売業	127	100	78.7	10～29人	93	31.0		300	100.0
建設業・不動産業	99	79	79.8	30～49人	31	10.3			
サービス業	46	39	84.8	50人以上	33	11.0			
運輸業	29	24	82.8	合計	300	100.0			
合計	368	300	81.5						

豊かな十勝の未来のために

Q 1 2021年の日本の景気見通しは？

『良い』と『普通』が大幅に減少、『悪い』が9割超に

十勝では、2021年の日本の景気見通しは『良い』と回答した中小企業の割合が1%、『普通』と回答した割合が8%と、それぞれ前年（16%、41%）を大幅に下回った。『悪い』と回答した割合は91%と前年（43%）を大幅に上回り、既往（1993年見通し以降、以下同じ）4番目の大きさとなった。

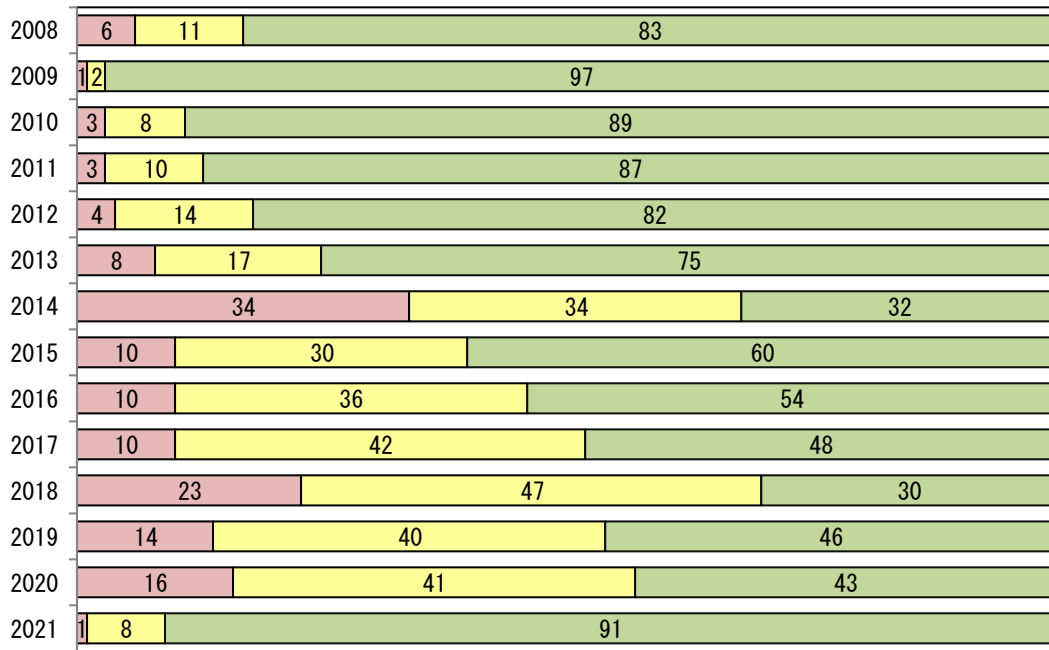
業種別にみると、すべての業種で『良い』、『普通』と回答した割合が前年比大幅に減少し、『悪い』と回答した割合が大幅に増加した。製造業、建設業・不動産業、運輸業では『良い』と回答した先はなく、卸売業、小売業、サービス業の『良い』も二桁には届かなかった。『普通』では、突出している運輸業と二桁となった卸売業を除くすべての業種で一桁にとどまった。『悪い』では、製造業、建設業・不動産業、小売業が9割を超え、以下、サービス業、卸売業、運輸業と続いた。

問1 貴社では、2021年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

（単位% カッコ内は前年）

	総合	製造業	卸売業	小売業	建設業・ 不動産業	サービス業	運輸業
『良い』	1(16)	0(18)	4(25)	3(17)	0(12)	6(17)	0(15)
非常に良い	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)
良い	0(4)	0(5)	0(7)	0(3)	0(5)	3(4)	0(4)
やや良い	1(12)	0(13)	4(18)	2(13)	0(7)	3(13)	0(11)
『普通』	8(41)	3(29)	12(50)	6(30)	8(52)	5(39)	26(53)
『悪い』	91(43)	97(53)	84(25)	91(53)	92(36)	89(44)	74(32)
やや悪い	37(36)	38(50)	23(21)	39(42)	39(32)	35(33)	35(25)
悪い	43(6)	50(3)	49(4)	41(9)	42(2)	33(11)	39(7)
非常に悪い	11(1)	9(0)	12(0)	11(2)	11(2)	21(0)	0(0)

年末時点の日本の景気見通しの推移 □『良い』 □『普通』 □『悪い』 (%)



Q 2 2021年の自社の業況見通しは？

『悪い』は7割超、国内景気見通しよりも底堅いとする見方に

十勝では、2021年の自社の業況見通しは『良い』と回答した中小企業の割合が4%と前年（12%）を、『普通』と回答した割合が23%と前年（49%）を、いずれも大幅に下回った。『悪い』と回答した割合は73%と前年（39%）を大幅に上回り、既往5番目の大きさとなった。

業種別にみると、すべての業種で『良い』、『普通』と回答した割合が前年比大幅に減少し、『悪い』と回答した割合が大幅に増加した。卸売業、運輸業では『良い』と回答した先はなく、製造業、小売業、建設業・不動産業、サービス業の『良い』も二桁には届かなかった。『普通』では、4割弱の運輸業から、以下、卸売業、製造業、サービス業、建設業・不動産業、2割弱の小売業と続いた。『悪い』では、小売業、建設業・不動産業、サービス業、卸売業が7割を超え、以下、製造業、運輸業と続いた。

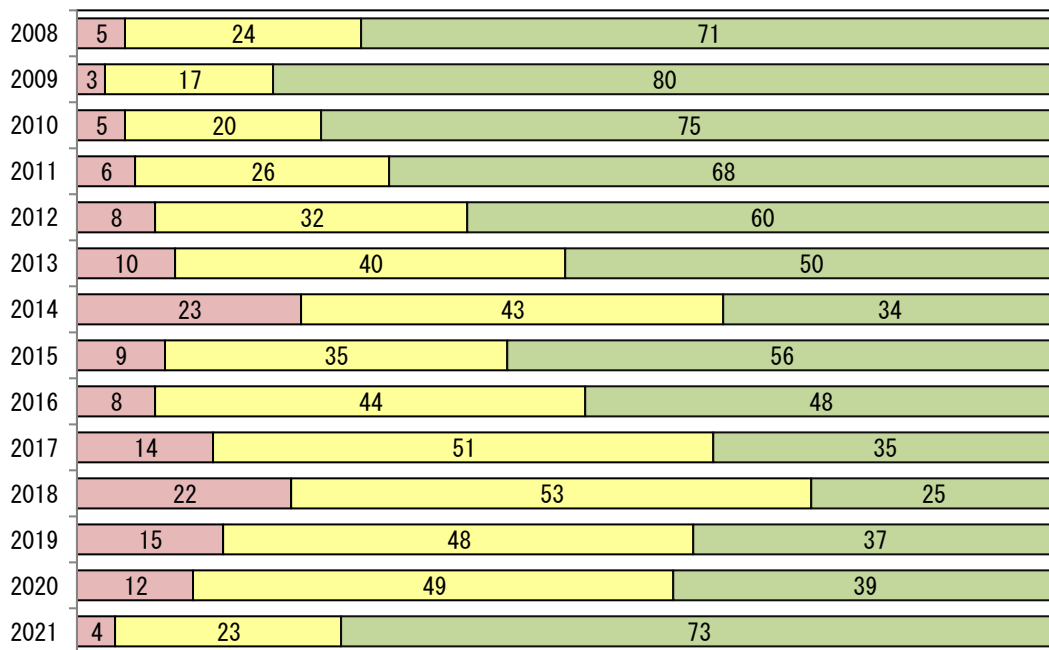
問2 貴社では、2021年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

（単位% カッコ内は前年）

	総合	製造業	卸売業	小売業	建設業・不動産業	サービス業	運輸業
『良い』	4(12)	9(24)	0(25)	5(9)	4(8)	3(11)	0(4)
非常に良い	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)
良い	1(2)	0(3)	0(4)	2(0)	0(2)	0(4)	0(0)
やや良い	3(10)	9(21)	0(21)	2(8)	4(6)	3(7)	0(4)
『普通』	23(49)	25(44)	27(50)	18(41)	20(54)	23(52)	39(67)
『悪い』	73(39)	66(32)	73(25)	77(50)	76(38)	74(37)	61(29)
やや悪い	50(35)	50(32)	38(21)	55(42)	53(36)	46(33)	48(25)
悪い	19(3)	13(0)	27(4)	16(7)	22(1)	23(2)	13(4)
非常に悪い	4(1)	3(0)	8(0)	6(1)	1(1)	5(2)	0(0)

年末時点の自社業況見通しの推移

□ 『良い』 □ 『普通』 □ 『悪い』 (%)



Q 3

2021年の自社の売上額の見通しは？

半数以上が『減少』、我慢の1年に

十勝では、2021年の自社の売上額の伸び率見通しは、『増加』と回答した中小企業の割合が14%、『変わらない』が30%と、それぞれ前年（22%、43%）を4年連続、3年連続で下回り、『減少』が56%と前年（35%）を大幅に上回った。『減少』は3年連続の増加。

業種別にみると、すべての業種で『増加』を見通す割合が前年を大幅に下回った。『変わらない』では、サービス業を除くすべての業種で前年を下回った。『減少』では、6割を超える建設業・不動産業、以下、6割未満の小売業、卸売業、5割未満のサービス業、製造業、運輸業と続いた。また、すべての業種で『30%以上の減少』の回答も確認された。

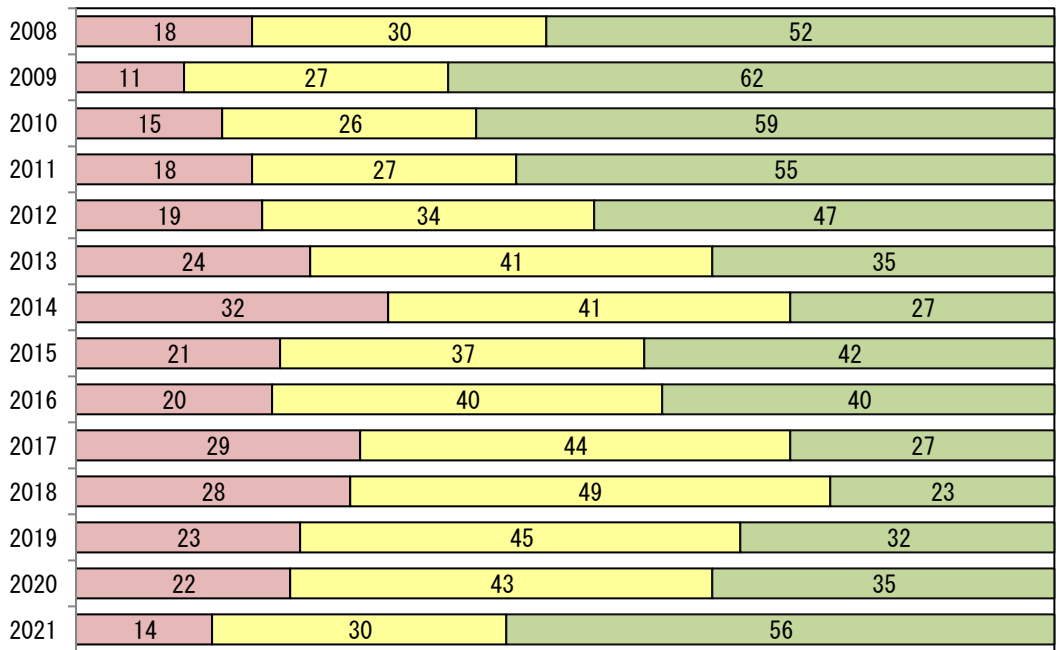
問3 2021年において貴社の売上額の伸び率は、2020年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

（単位% カッコ内は前年）

	総合	製造業	卸売業	小売業	建設業・不動産業	サービス業	運輸業
『増加』	14(22)	28(39)	19(40)	14(14)	11(17)	10(37)	4(15)
30%以上の増加	1(0)	0(0)	0(0)	2(1)	0(0)	0(0)	0(0)
20~29%の増加	0(1)	0(0)	0(4)	0(0)	0(1)	0(0)	0(0)
10~19%の増加	3(3)	9(5)	0(7)	4(1)	1(3)	5(5)	0(4)
10%未満の増加	10(18)	19(34)	19(29)	8(12)	10(13)	5(32)	4(11)
『変わらない』	30(43)	28(37)	27(35)	27(46)	23(46)	43(30)	53(60)
『減少』	56(35)	44(24)	54(25)	59(40)	66(37)	47(33)	43(25)
10%未満の減少	29(28)	35(16)	19(21)	33(36)	30(26)	18(23)	35(25)
10~19%の減少	18(5)	6(5)	23(4)	17(2)	23(8)	21(5)	4(0)
20~29%の減少	4(1)	0(3)	8(0)	2(1)	10(1)	3(5)	0(0)
30%以上の減少	5(1)	3(0)	4(0)	7(1)	3(2)	5(0)	4(0)

年末時点の自社売上額見通しの推移

□ 『増加』 □ 『変わらない』 □ 『減少』 (%)



Q 4 自社の業況が上向き転換点の見通しは？

「すでに上向いている」、「6か月以内」、「1年後」を合わせると32%、「2年後」も加えると56%に

自社の業況が上向き転換点については、『2年後』が24%、『1年後』が18%、『3年後』が11%と続いた。『すでに上向いている』が8%、『6か月以内』が6%の一方で、『3年超』が8%、『業況改善の見通しは立たない』がもっとも多い25%となった。なお、『業況改善の見通しは立たない』は調査を開始した2002年見通し以降ではもっとも低い水準となり、これは幅広い業種の業況を急激に悪化させたコロナショックの影響の裏返しを表すものとなった。

「2020年7～9月期特別調査」の「Q1、売上高がコロナ前の水準に回復する時期をいつごろと見込んでいますか？」の回答のうち「戻ることはない(5%)」、「わからない(33%)」と比較すると、所謂、先行き見通し難の回答割合は減少し、その分回復・改善時期を見通しているとする割合が増加した。

問4 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

(単位% カッコ内は前年)

	総合	製造業	卸売業	小売業	建設業・不動産業	サービス業	運輸業	
1	すでに上向いている	8(13)	16(18)	4(29)	6(6)	11(18)	3(11)	10(4)
2	6か月以内	6(7)	6(5)	20(7)	6(7)	1(3)	5(14)	0(8)
3	1年後	18(12)	22(11)	20(7)	23(12)	11(14)	18(16)	10(4)
4	2年後	24(7)	22(21)	28(4)	24(3)	21(7)	34(7)	14(8)
5	3年後	11(8)	16(8)	8(7)	7(7)	16(7)	11(11)	10(8)
6	3年超	8(9)	9(8)	8(11)	0(7)	14(13)	8(7)	14(8)
7	業況改善の見通しは立たない	25(44)	9(29)	12(35)	34(58)	26(38)	21(34)	42(60)

自社の業況が上向き転換点

(%)

□すでに上向いている □6か月以内 □1年後 □2年後 □3年後 □3年超 ■業況改善の見通しは立たない

2008	6	5	8	10	15	13	43
2009	3	4	8	14	14	20	37
2010	5	5	11	10	12	18	39
2011	7	4	10	13	11	14	41
2012	5	9	11	12	10	16	37
2013	8	9	13	11	9	15	35
2014	16	7	13	10	8	10	36
2015	9	8	11	11	7	10	44
2016	10	7	10	12	16	9	36
2017	14	9	14	8	10	9	36
2018	25	5	10	6	7	8	39
2019	17	6	14	10	7	10	36
2020	13	7	12	7	8	9	44
2021	8	6	18	24	11	8	25

Q5 コロナ禍において、地域金融機関に求めることは？

『各種補助金・助成金等の活用支援』など、資金繰り以外の支援を求める先は8割超に

コロナ禍において、十勝の中小企業が資金繰り以外の事業計画・戦略等の策定・実行支援として、地域金融機関に求めていることは、半数以上の57%が『各種補助金・助成金等の活用支援』を挙げ、以下、23%が『ビジネスマッチング・顧客紹介』、17%が『人材獲得育成・人材派遣の支援』、14%が『IT化・デジタル化への支援』と続いた。『資金繰り支援以外に求めるものはない』と回答した割合は18%にとどまり、地域金融機関に対して幅広い支援を期待していることがうかがい知れる結果となった。

業種別にみると、すべての業種の半数以上が『各種補助金・助成金等の活用支援』を挙げた一方で、「人手不足」を経営上の最大の問題点とする運輸業では、『人材獲得育成・人材派遣の支援』を、「売上の停滞・減少」を問題点とするサービス業では、『事業承継・M&A支援』を求める割合が多くなるなど、業種により求める支援の違いもみられた。

問5 現下のコロナ禍において、貴社では、資金繰り以外の事業計画・戦略等の策定・実行支援として、地域金融機関に求めることはありますか。求めることがある方は、1~9の中から3つまで選んでお答えください。

(複数回答 単位:%)

		総合	製造業	卸売業	小売業	建設業・ 不動産業	サービス業	運輸業
1	各種補助金・助成金等の活用支援	57	65	65	56	51	59	61
2	ビジネスマッチング・顧客紹介	23	26	22	17	29	16	33
3	各種専門家や専門機関との連携支援	9	10	9	10	5	13	6
4	人材獲得育成・人材派遣の支援	17	32	13	11	16	16	33
5	IT化・デジタル化への支援	14	10	17	16	8	19	17
6	新分野進出・業態転換の支援	12	13	9	16	11	13	6
7	事業継続計画(BCP)の策定支援	8	6	13	10	5	13	0
8	事業承継・M&A支援	12	3	13	14	10	22	6
9	円滑な廃業へ向けての支援	2	13	0	2	0	0	0
0	資金繰り支援以外に求めるものはない	18	6	17	26	22	6	6